集めたデータをどうする?Clinical Questionから Research Question、そして統計へ ~神奈川県内科医学会高血圧腎疾患対策委員会の試み~

日本高血圧学会実地医家部会セッションプログラムWG

内科クリニックこばやし 横浜市立大学大学医学部循環器・腎臓・高血圧内科学 小林一雄

日本高血圧学会 COI開示

小林 一雄

本発表および本研究に関係する COI関係にある企業などはありません

高血圧・慢性腎臓病・糖尿病はお互い関連し増加している

 高血圧、慢性腎臓病(Chronic kidney disease; CKD)、糖尿病 は世界的に拡大し、 さらなる増加が危惧されている。

	高血圧	慢性腎臓病	糖尿病
世界	12. 8億人 ¹⁾	8. 5億人 ²⁾	4. 9億人 ³⁾
日本	4300万人4)	1330万人5)	1000万人6)

・ 糖尿病と高血圧は互いに高頻度(2~3倍) に併発する⁷⁾。

・ かかりつけ高血圧患者の45.1%がCKDであり8)、実地医家での対策が急務となる。

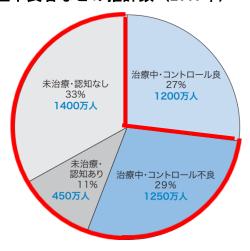
¹⁾ Zou, et al.: Lancet 398: 957-980, 2021, 2) Jager KJ et al.: Nephrol Dial Transplant 34(11):1803-1805, 2019, 3) IDF diabetes atlas 9th edition:www.diabetesatlas.org:6, 2019, 4) Umemura et al.: Hypertension research 42: 1235-1481, 2019, 5) 日本腎臓学会編: CKD診療ガイド2012: 5-6, 2012, 6) 平成30年版厚生労働白書: 厚生労働省:https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/18, 7) Iimura: Hypertension research 19(Supple): S1-S8, 1996, 8) 小林一雄 他: 血圧 22(12):923-928, 2015

高血圧、慢性腎臓病、糖尿病診療のアンメットニーズ

高血圧

Hypertension paradox

わが国の高血圧有病者、薬物利用者、 管理不良者などの推計数 (2017年)



Umemura et al.: Hypertension research

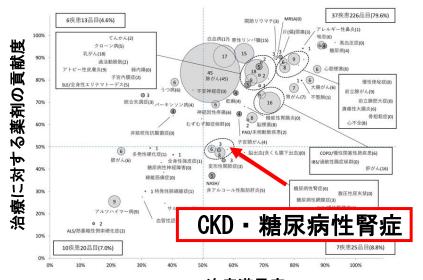
42: 1235-1481, 2019

CKD

特効薬への不満

(進行抑制もしくは予後改善する薬剤 が十分でない)

治療満足度・薬剤貢献度(2019年)



治療満足度

糖尿病

管理目標達成不十分

ヘモグロビンA1c値の年次推移



平均Body mass index 27.4 (2019年)

Japan Diabetes Clinical Data Management Study Group: http://jddm.jp, 2020

高血圧

CKD

糖尿病

Hypertension paradox

特効薬への不満

管理目標達成不十分

Evidence based Medicine 実施のため

高血圧診療ガイドライン JSH2019

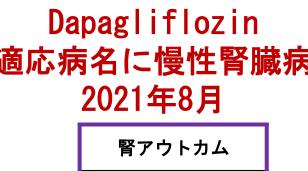
日本高血圧学会

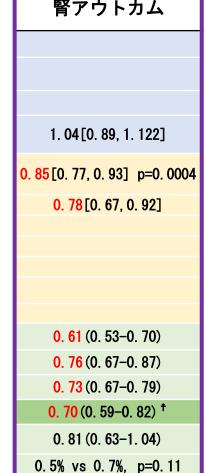
エビデンスに基づく CKD診療ガイドライン 2018 日本腎臓学会 糖尿病診療ガイドライン 2019 日本糖尿病学会





Dapagliflozin 適応病名に慢性腎臓病

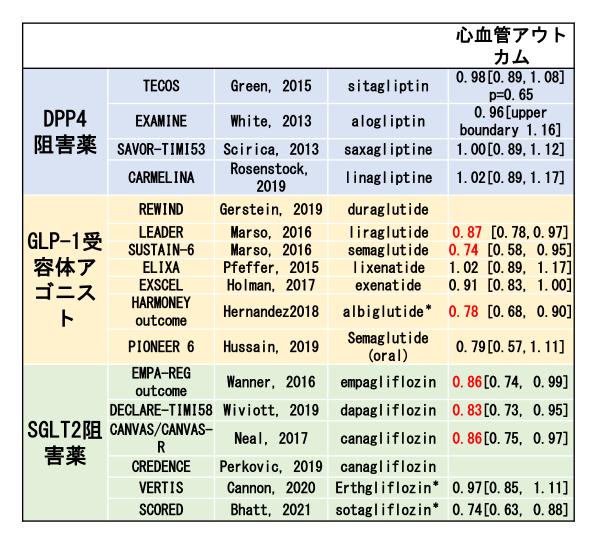




+DAPA-CKD







血圧	
→	
→	
低下↓	
低下↓	
低下↓	
⇒	
低下↓	
→	
低下↓	

リアルワールドエビデンスの必要性

• Evidence based medicine (EBM)の普及が推進される中、実地医療(リアルワールド)では、Evidence practice gap (EPG) が存在する。

Liang L: Health Affairs (Millwood) 26(2): 119-21, 2007

ガイドラインに忠実に沿った診療実施は67%であり、個々の実地医家やガイドラインによって大きなばらつきがある。

Grol R: Med Care 39(8 Suppl 2): 46-54, 2001

・EBM普及推進事業 (Medical information distribution service; Minds)では、診療ガイドラインの評価の必要性が示されている。

JSH2014および2019の実地医家の意識調査 (神奈川県内科医学会、相模原市内科医会)

- 小林一雄: 血圧 22(4): 318-323, 2015.
- 小林一雄: 神奈川県医師会報 784号:7. 2015
- <u>小林一雄</u>, 他:血圧 23(7): 511-516, 2016
- Kobayashi K, et al.: Clin Exp Hypertens 39(8): 705-10, 2017
- Kobayashi K. et al.: Hypertension Res: 2021. in press

CKD診療に関する実地医家のアンケート調査 (日本臨床内科医会学術委員会腎電解質班)

- <u>小林一雄</u>: 日本腎臓学会誌 60(2): 141-148, 2018
- Tatematsu M, Kobayashi K, et al.: Clin Exp Nephrol 25(10): 1093-1102, 2021

RCTと双璧をなすリアルワールド研究

- EMPRISE (EMPagliflozin compaRative effectIveness and SafEty)
 - ・ EMPAREG OUTCOME trialの補填的研究の位置づけ
 - Sitagliptinと比較し50%心不全減少(HR 0.50 (95% CI 0.28-0.91))

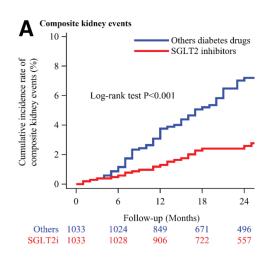
Patorno, et al.: Circulation 139:2831-2834, 2019 アジア人対象の解析でも同様の結果あり2019IDFにて報告)

- The CVD-REAL study
 - Canagliflozin 53%, Dapagliflozin 42%, Empagliflozin 5%
 - ・ 他の血糖降下薬と比較し、心不全 HR 0.61 (95% CI 0.51-0.73)

総死亡 HR 0.49 (95% CI 0.41, 0.57)

Kosiborod M, et al.: Circulation 136(3):249-259, 2017

SGLT2阻害薬により腎イベントが有意に減少 J-CKD-Database研究



Nagasu et al., Diabetes Care 44: 1-10, 2021

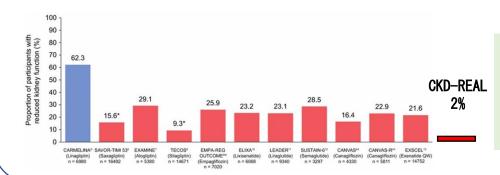


Baseline Characteristics

Baseline characteristic, n (%)	SGLT-2i (N=235,064)	oGLD (N=235,064)	Standardized Difference	
Age, years, mean (SD)	57 (12)	57 (13)	0.4%	
Women	105,843 (45)	106,863 (46)	0.9%	
Established cardiovascular disease*	59,222 (27)	56,576 (26)	2.7%	
Acute myocardial infarction	7,624 (3)	7,479 (3)	0.4%	
Unstable angina	12,480 (6)	12,235 (6)	0.5%	
Heart failure	15,151 (7)	14,741 (7)	0.7%	
Atrial fibrillation	6,026 (3)	5,843 (3)	0.5%	
Stroke	20,983 (10)	20,153 (9)	1.3%	
Peripheral arterial disease	2,446 (1)	2,384 (1)	0.3%	
Microvascular disease†	116,370 (53)	114,630 (52)	1.6%	
Chronic kidney disease	4,211 (2)	4,021 (2)	0.6%	

^{*}Myocardial infarction, unstable angina, stroke, heart failure, transient ischemic attack, coronary revascularization or occlusive peripheral artery disease; †diabetic mono-(polyneuropathy, diabetic eye

「課題点:主な新規糖尿病薬における大規模臨床試験におけるCKD症例の割合



かかりつけ非糖尿病・高血圧 患者の **45**. **1%** がCKD!

小林一雄, 血圧 22:923-928, 2015

J-CKD database研究の一例

Characteristics	SGLT-2 inhibitor group $(n = 1,033)$	Other glucose-lowering drugs group $(n = 1,033)$	Standardized mean difference (%)
Age, years	64.0 ± 11.5	64.9 ± 12.4	6.9
Women	389 (37.7)	388 (37.6)	0.2
Hemoglobin A _{1c} , %	7.8 ± 1.2	7.7 ± 1.5	6.7
Hemoglobin A _{1c} , mmol/mol	62.0 ± 13.1	60.9 ± 16.7	6.7
eGFR, mL/min/1.73m ²	68.2 ± 17.2	68.0 ± 19.1	1.4
eGFR ≥60 mL/min/1.73m ²	751 (71.7)	766 (74.2)	3.3
eGFR <60 mL/min/1.73m ²	282 (27.3)	267 (25.8)	3.3
eGFR 45–59 mL/min/1.73m ²	179 (17.3)	143 (13.8)	9.6
eGFR <45 mL/min/1.73m ²	103 (10.0)	124 (12.0)	6.5
Rate of eGFR change prior to index, mL/min/1.73 m²/year	-1.3 ± 5.0	-1.1 ± 9.5	2.9
Proteinuria	294 (28.5)	284 (27.5)	2.2
Glucose-lowering medications Canagliflozin Empagliflozin Empagliflozin Luseogliflozin Luseogliflozin Tofogliflozin Metformin DPP-4 inhibitor Sulfonylurea Insulin GLP-1 receptor agonist Thiazolidinedione Others	128 (12.4) 201 (19.5) 210 (20.3) 214 (20.7) 178 (17.2) 102 (9.9) 559 (54.1) 703 (68.1) 255 (24.7) 206 (19.9) 15 (1.5) 159 (15.4) 168 (16.3)	0 0 0 0 0 0 0 560 (54.2) 737 (71.3) 258 (25.0) 219 (21.2) 13 (1.3) 164 (15.9) 190 (18.4)	0.2 7.2 0.7 3.1 1.7 1.3 5.6
Blood pressure-lowering medications ACE inhibitor ARB Calcium channel blocker Diuretics B-Blocker A-Blocker Statins	673 (65.2) 76 (7.4) 396 (38.3) 415 (40.2) 106 (10.3) 114 (11.0) 63 (6.1) 467 (45.2)	642 (62.1) 62 (6.0) 408 (39.5) 408 (39.5) 100 (9.7) 114 (11.0) 63 (6.1) 472 (45.7)	6.2 5.4 2.4 1.4 1.9 0.0 0.0

Data are means ± SD or n (%). A standardized difference >10% is considered a nonnegligible difference. Other glucose-lowering medications include acarbose and epairestat. Diuretics include thiazide diuretics and aldosterone antagonists. GLP-1, glucagon-like peptide 1.

Nagasu et al., Diabetes Care 44: 1-10, 2021

血圧(診察室、家庭血圧)、 体重のデータの評価はされて いない

代表的な高血圧、慢性腎臓病、糖尿病診療のリアルワールドデータベース

高血圧

久山町研究

端野•壮瞥町研究

大迫研究

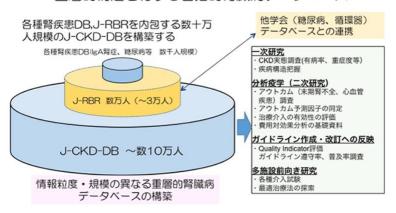
などなど

CKD

J-CKD-Database

J-CKD-DBの目的

重層的構造を有する包括的腎臓病データベース



2021年8月19日時点 21大学 J-CKD-DB 148, 183件

糖尿病



- 般社団法人 糖尿病 データマネジメント研究会

2019年 51施設

55,779症例



9,342症例

Yoshida, BMJ open 2020

代表的な高血圧、慢性腎臓病、糖尿病診療のリアルワールドデータベース

高血圧

久山町研究

端野•壮瞥町研究

大迫研究

などなど



2018年 4.773例

2019年 3,655例

2020年 3,669例

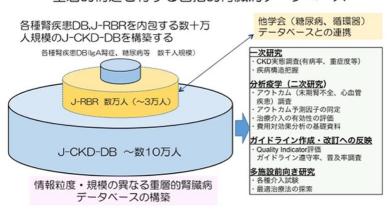
2021年 ?

CKD

J-CKD-Database

J-CKD-DBの目的

重層的構造を有する包括的腎臓病データベース



2021年8月19日時点 21大学 J-CKD-DB 148, 183件

糖尿病



- 般社団法人 糖尿病 データマネジメント研究会

2019年 51施設

55,779症例



9,342症例

Yoshida, BMJ open 2020

かかりつけ医診療データベース研究 高血圧ver



2018年 4,773例 2019年 3,655例 2020年 3,669例 2021年 ?



宮川政昭先生

- かかりつけ医ならではの究極のリアルワールドデータ
- 日本医師会+日本高血圧学会(実地医家部会)の最強 タッグ
- 様々なメリット;

Hypertension paradox解消、Clinical inertia対策、Evidence practice gap 確認、エビデンス創出(JSH改訂への影響)など

J-DOMEの原型は、

神奈川高血圧Study

神奈川県内科医学会 高血圧腎疾患対策委員会

- 1. Hatori N, et al. J Nippon Med Sch. 2012;79(1):69-78.
- 2. Hatori N, et al. J Nippon Med Sch. 2014;81(4):258-63.



我々の神奈川高血圧studyも続きがある ライバルとして存在するより「手を組みたい」 どうやってJ-DOME幹部の承諾を得るか? 「質の高い研究のプレゼン」ができるかどうか?

由緒正しい臨床研究のすすめ

日常診療で、臨床現場に一番近い先生 Clinical question だからこそ気付く疑問! Research question PICO/PECO P; patients ・・・・・・ J-DOMEの高血圧患者 I; intervention (E; exposure) ●●を投与した △△以上 対比が重要 C: control ●●を投与しない △△未満 など 0; outcome ・・・・・・ どうなったか? (明らかにしたい事象) FIRM2NESS Feasibility: 実現可能性 ・・・・・・ J-DOMEならできる! ・・・・・・「実地医家のデータ」なら興味ある! Interesting: 興味深い ・・・・・・ 日本のみならず世界のアンメットニーズに応える! Relevance: 切実性 Measurable: 測定可能 ・・・・・・ ハードではないエンドポイント、、目標達成率など Modifiable: 修正可能 • • • • • • JSHは4度目の改訂あり ・・・・・・「実地医家のデータ」かつ早い者勝ち! Novel:新規性 Ethical: 倫理的 ・・・・・・ J-DOMEならできる! - - - - - - しっかりしたPICO/PECOと 統計 Structural: 構造化された があれば0k! Specific:特異的

PICO/PECO

P; patients ・・・・・ J-DOMEの高血圧患者

I; intervention (E; exposure) ・・・・ 対比が重要

●●を投与した △△以上

●●を投与しない △△未満 など

0; outcome ・・・・・・ どうなったか? (明らかにしたい事象)



"前向きランダム化試験ではない後ろ向き、横断研究で2群比較しても、2群間の患者背景が異なるので、結果はゆがんでしまう。レベルの低い研究だよね!"

Responce

統計の力! 傾向スコアを利用した解析

RCTと双璧をなすリアルワールド研究

総死

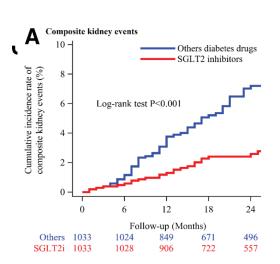
Kosibo

- EMPRISE (EMPagliflozin compaRative effectIveness and SafEty)
 - EMPAREG OUTCOME trialの補填的研究の位置づけ
 - Sitagliptinと比較し50%心不全減少(HR 0.50 (95% CI 0.28-0.91))

Patorno, et al.: Circulation 139:2831-2834, 2019 アジア人対象の解析でも同様の結果あり2019IDFにて報告)

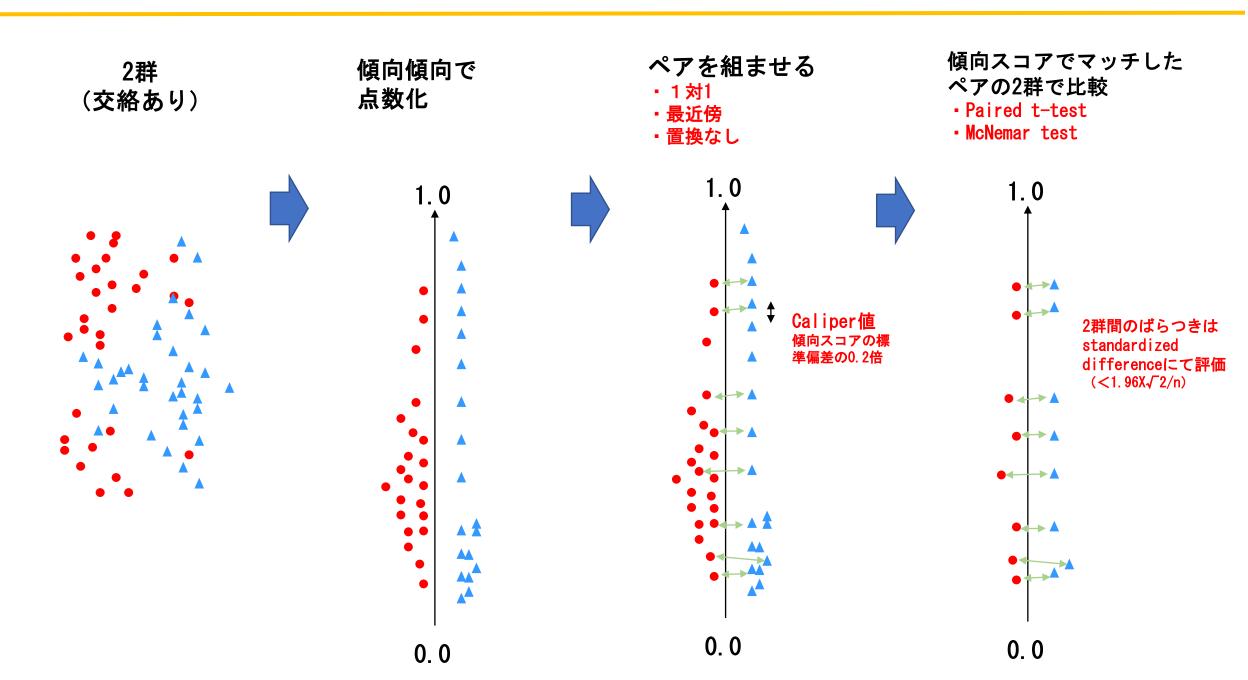
- The CVD-REAL study
 - Canagliflozin 53%, Dapagliflozin 42%, Emp
 - 他の血糖降下薬と比較し、心不全 HR 0.61

SGLT2阻害薬により腎イベントが有意に減少 CKD-Database研究



いずれも 傾向スコアマッチング を用いた解析

傾向スコアマッチング



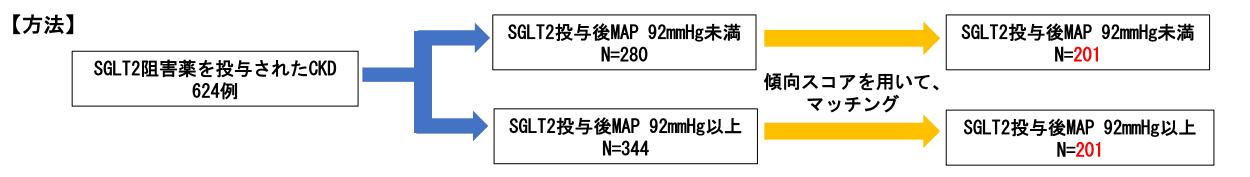
傾向スコアマッチング実例:神奈川県内科医学会SGLT2阻害薬データベース研究

Clinical question: SGLT2阻害薬投与で血圧が低下するから腎保護作用があるのではないか?

(Hypertension Paradocの早急の解消が必要なのではないか?)

Research question: SGLT2阻害薬投与でも血圧管理が悪ければ腎保護作用はキャンセルされるか?

- P SGLT2阻害薬投与中のCKD合併2型糖尿病患者(624例)
- E SGLT2阻害薬投与後平均血圧MAP < 92mmHg
- C SGLT2阻害薬投与後平均血圧MAP ≥ 92mmHg
- 0 腎複合イベント:アルブミン尿病期進行またはeGFR 15%/年の減少



【結果】

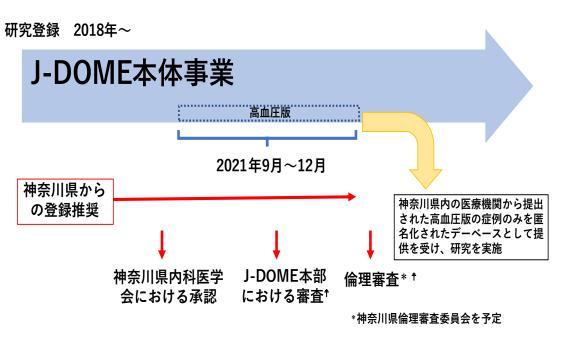
SGLT2i 投与後MAP	イベント あり	イベント なし	P-value by McNemar's test	
MAP<92	11 (5. 5%)	190 (94. 5%)	0.010	
MAP≥92	26 (12. 9%)	175 (87. 1%)	0. 012	

【結論】

SGLT2阻害薬の腎保護作用には血圧管理が重要

Kobayashi K, et al. Journal of Diabetes Investigation. 2021

神奈川県内科医学会高血圧腎疾患対策委員会のChallenge(案)



†日程未定

✓ まだ実現できるかわからない段階です!

多くの先生方にご指導を受けております

✓ J-DOMEと神奈川県内科医学会 Win-Win(共存)!?

症例登録すれば、J-DOMEの研究の一端を担える!?
J-DOMEの主要メンバーの懐の深さに感謝いたします
個人的にはこの総会前までに100例の登録をしました!

✓ ライバルは"アカデミア""世界"!?

個人での研究は無理?

質の高い研究デザイン?

Publicationできるか?

J-DOME

SPSS + 統計の師匠 小林病院(小田原) 羽鳥信郎先生

実地医家部会

実地医療ではかならずしもエビデンス通りの結果が出るわけではなくevidence practice gap(EPG)が存在す る。われわれ実地医家はそのEPGを理解し目の前の患者さんに対して最もふさわしい治療を実践すること が求められる。EPGを明らかにするためには実地医療のデータベースが必要となる。J-DOMEは日本医師 会主導の実地医家データベース研究であり、糖尿病に続き高血圧データベースも開始された。より多くの 実地医家がJ-DOMEに参加することにより高血圧診療の実態が明らかになることが期待されている。 日常診療のちょっとした気づきからclinical questionは生じ、それをresearch questionとし研究は開始され る。われわれ神奈川県内科医学会高血圧腎疾患対策委員会では2008年以降これまで3回の高血圧横断研究 を実施し報告を行っている。2019年高血圧診療ガイドライン改訂を契機に新たな高血圧研究を企画してい た当委員会は、高血圧版J-DOMEの推進活動と同時にデータベース利用(神奈川県限定)の共同研究を模 索している。共同研究を打診するにあたっては、しっかりとしたclinical question、research questionを提 示する必要があり、どのような統計解析を実施するかもあらかじめ決定する必要がある。当委員会ではこ れまでにSGLT2阻害薬のデータベース研究に際し傾向スコアを用いた解析を行い複数の論文を報告してお り、共同研究においても傾向スコアを用いた解析を予定している。令和3年に「人を対象とする生命科 学・医学系研究に関する倫理指針」が施行され実地医家における臨床研究のルール・進め方も大きく変 わってきている。J-DOMEと協力しつつ、新しい実地医家のデータ解析研究のあるべき姿について、我々 のチャレンジをお話したい。